

スポーツ傷害と画像診断		講義	教授 川崎 一郎
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12351302

1. 授業のねらい・概要

骨折、脱臼や軟部組織損傷を評価するにあたり、その発生機序や臨床症状とともに、X線画像や超音波画像、そしてMRI画像が重要な手掛かりとなる。本講義では、「代表的な運動器のスポーツ傷害を取り扱い、それらの傷害がX線画像や超音波画像、そしてMRI画像にどのように描出されるのかを理解できるようにする」ことを目的とする。

2. 授業の進め方

パワーポイント、板書、ならびに配布資料を用いた講義形式となる。

3. 授業計画

1. X線画像の基礎	9. 股関節のスポーツ傷害と画像評価
2. 超音波画像の基礎	10. 膝関節の解剖
3. MRI画像の基礎	11. 膝関節のスポーツ傷害と画像評価
4. 肩関節の解剖	12. 足関節の解剖
5. 肩関節のスポーツ傷害と画像評価	13. 足関節のスポーツ傷害と画像評価
6. 肘・手関節の解剖	14. 脊椎の解剖
7. 肘・手関節のスポーツ傷害と画像評価	15. 脊椎のスポーツ傷害と画像評価
8. 股関節の解剖	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各関節の解剖をよく理解しておくこと。加えて、代表的なスポーツ傷害の概要を調べておくこと。なお、これらの準備学修には、2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答などを解説する。

6. 授業における学修の到達目標

X線測定や超音波測定、そしてMRI測定に関する臨床的な基礎知識を習得する。加えて、代表的な運動器のスポーツ傷害についても理解できるようにする。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）で評価する。成績評価にあたっては、授業回数の2/3以上の出席を前提とする。

8. テキスト・参考文献

施術の適応と医用画像の理解 南江堂（公社）全国柔道整復学校協会 細野昇・川口央修
その他の必要資料は授業中に適宜配布する。

9. 受講上の留意事項

授業に解剖学の教科書などを持参することが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は接骨院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。